

2. 高教組・正保代議員

2点、お礼とお願いで発言したい。4月から高校の授業料が免除となった。22年間の取り組みが実を結び、これまでに3億近い署名が届けられた。支援に感謝したい。教育の無償化は国際人権委員会からも求められていたものだが、日本政府はこれを留保し続けていた。民主党政権に代わりやっと実現を見た。9,900円/1カ月、118,800円/年間免除されることになった。教育無償化の実現に向けたささやかな一歩が始まったにすぎない。私学では118,800円が免除されるだけで、依然として授業料以外の負担は多く、昨年まで授業料が免除されていた家庭にしてみれば高負担は変わらない。貧困と格差が広がるなかで350万の失業者は、言いかえると高校の定員40人として各クラスに2名の失業者の高校生が存在することになる。ワーキングプアを入れると数はもっと多いと思う。昨年は高教組として就学援助金制度を発足させ、何とか援助の手を差し伸べたいという思いで出発した。昨年は1人3万円10人くらいを目標で始めたが、応募者が多くて10人では線引きが困難と判断し、結局、17人に援助することになった。応募者の内、91%は授業料免除の世帯であり、53%は仕事をしながらも修学旅行にも行けない家庭だった。今年も修学援助を継続したい。教育の無償化、機会均等の実現に向けた支援と協力をお願いする。